

信号変換基板 取扱説明書

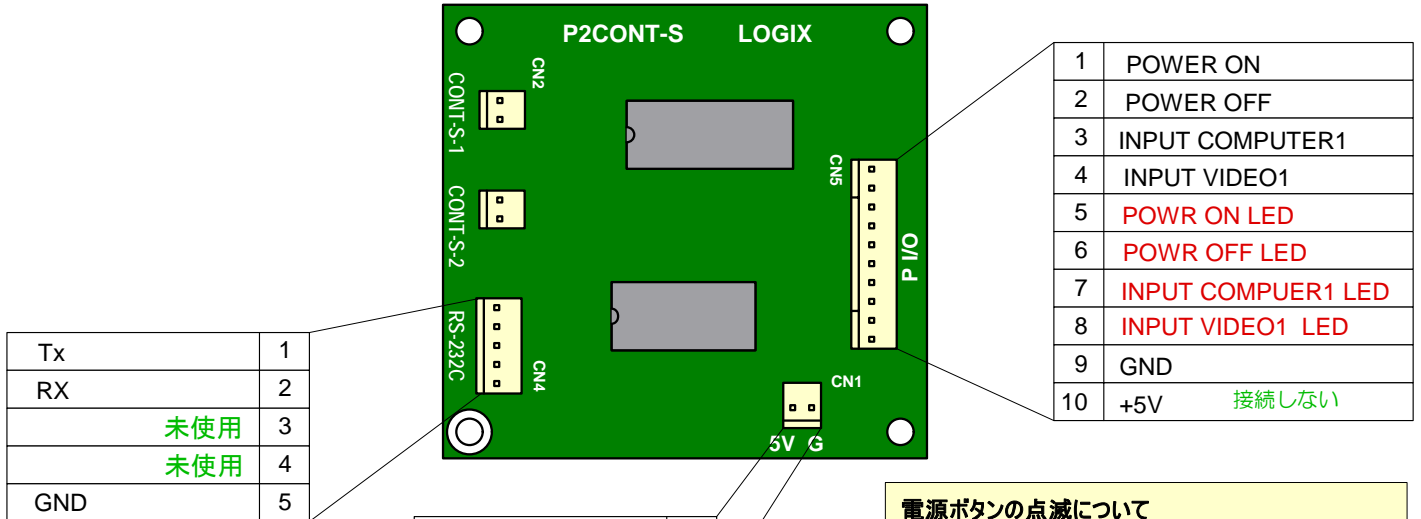
接点 → RS232C (ステータスランプ対応)
三菱 LVP-XL30,25 LVP-X500用

(有) ロジックス

857-0055
長崎県佐世保市湊町2-15 E-mail : logix@lgx.co.jp
電話 : 0956-25-3963 WebPage : www.lgx.co.jp
FAX : 0956-25-3964

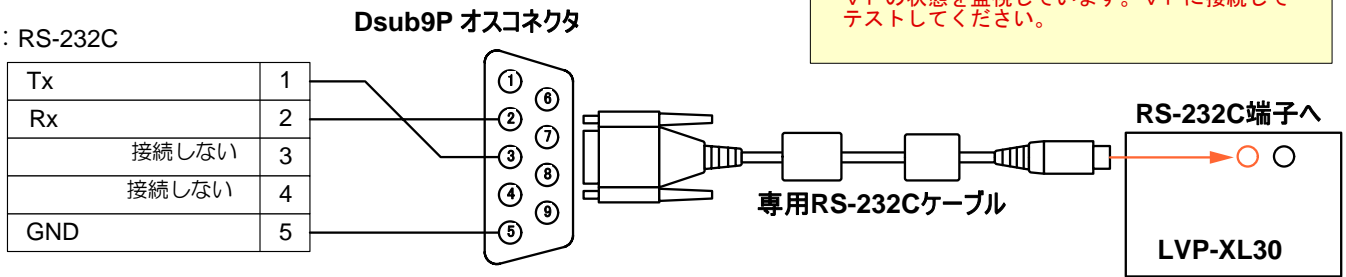
この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。入出力の仕様は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。注意点として、接点入力の信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

LED出力電流は基板上で約15ミリアンペアになるように制限しています。



CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します (消費電力 : 50mA以下)

CN4 : RS-232C



CN5 : 接点入力



これらの端子をGNDに接続すると、該当するコマンドが出力されます。この信号はグラウンドにショートした瞬間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。

電源ボタンの点滅について
電源ボタンの点滅は次のとおりです。
1. スタートアップ時 PWR ON LED 30秒点滅
2. クーリング時 PWR OFF LED 30秒点滅
3. 電源オン時 PWR ON LED 点灯
4. 電源オフ時 PWR OFF LED 点灯

VPの状態を監視しています。VPに接続してテストしてください。